

第 109 回日本陸上競技選手権大会 競技注意事項

兼 東京 2025 世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

2025 年 6 月 23 日

1. 競技規則について

本競技会は、「2025 年度日本陸上競技連盟競技規則」及び「競技会における広告および展示物規程」により実施する。

2. 競技者受付及び配付物について

(1) 競技者受付を国立競技場東側の青山門 G ゲート付近に設ける。

(2) アスリートビブスは 3 枚（胸・背・手荷物用）配付する。

前回大会の優勝者は、ゴールドビブスを胸に着用する。ゴールドビブスは該当種目でのみ着用し、他の種目に出場する場合は通常のアスリートビブスを着用すること。

(3) アスリートビブスと AD カードの配付については、以下の時間帯に競技者受付にて行う。

- ・ 7 月 3 日（木）12:00～17:00
- ・ 7 月 4 日（金）10:00～16:00
- ・ 7 月 5 日（土）9:00～16:00
- ・ 7 月 6 日（日）11:00～14:00

なお、TIC【GATE 5 内】の開設時間は競技者受付開始～各日競技終了後 20 分とする。

(4) AD カードの配付枚数は、以下の通りとする。場内を移動する際は、必ず AD カードを着用すること。

競技者 AD： 1 名につき 1 枚

コーチ AD： 参加者 1 名 → 2 枚、参加者 2～3 名 → 3 枚、参加者 4～5 名 → 4 枚

参加者 6 名～9 名 → 5 枚、以降 5 名増えるごとに 1 枚追加

（参考：選手案内資料）<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1952/>

3. 欠場について

(1) 欠場する競技者は「欠場届」（TIC にも用意）を規定の要領で提出すること。欠場者を除いて番組編成を行うため、必ず期日までに提出すること。届け出を行わずに欠場した者は、その後の本連盟、加入団体が主催または後援する競技会に出場を認めない措置を講ずることがある。

(2) 欠場について、大会期間を通じて複数種目にエントリーしている選手が欠場届を提出した場合、提出された以降の全ての種目に欠場を反映する。ただし、大会医師の判断による欠場の場合はこの限りではない。

欠場届（日本選手権専用形式）<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1952/>

- ① 大会 1 日目：7 月 4 日（金）の種目で欠場する場合は、7 月 2 日（水）の 12 時まで
- ② 大会 2 日目：7 月 5 日（土）の種目で欠場する場合は、7 月 4 日（金）の 12 時まで
- ③ 大会 3 日目：7 月 6 日（日）の種目で欠場する場合は、7 月 5 日（土）の 12 時まで

《提出先》

- ・ 7 月 2 日（水）までの欠場届は、日本陸連欠場届提出アドレス（dns@jaaf.or.jp）へメールで提出
- ・ 7 月 3 日（木）以降は TIC へ持参もしくは日本陸連欠場届提出アドレス（dns@jaaf.or.jp）へメールで提出

(3) 欠場理由は、メディア等に公開される場合がある。

4. 招集について

(1) 招集所は、200m スタート地点付近の【GATE 5 内】に設ける。

(2) 各競技の招集開始時刻・完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。時刻は招集所入口の電波時計を基準とする。

(3) 招集の方法については、次の通りである。

- ① 競技者は招集完了時刻までに招集所で競技者係の点検を受ける。その際、アスリートビブス、シューズ、スパイクの寸法と数、衣類やバッグ等の商標の確認を受けること。トラック競技のみ腰ナンバー標識（2 枚）を受け取ること。
- ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD プレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器など承認されていないものがないかどうか、競技場内に持ち込むバックの中身の確認を受ける。
- ③ 代理人が招集を受けることは認めない。2 種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所（競技者係）に備え付けの「多種目同時出場届」に記入し、1 種目めの招集時に競技者係へ提出すること。
- ④ 招集完了時刻に招集所にいない競技者は、当該種目への参加から除外され、欠場（DNS）として記録される。

5. 競技エリア（FOP）への入場について

- (1) 招集所から競技役員の指示に従い競技場に入場すること。
- (2) 競技終了後は、競技役員やスタッフの指示に従いグラウンド観戦エリア、ミックスゾーンと PEC（ポスト・イベント・コントロール）を通り退場すること。なお、決勝において1～3位の競技者をメダリストルームに誘導する。
- (3) メダリストルームがある2階ラウンジはホスピタリティチケット購入者も使用するが、滞在エリアは区切られている。

6. トラック競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。決定されたレーン順・試技順は、陸連 HP (<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1952/>) に掲載する。
準決勝以降の組み合わせ、及びそのレーン順も陸連 HP (<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1952/>) に掲載する。
- (2) 日本選手権は3.(1)に記載の通り欠場届を反映し、1日目は大会前々日、2日目以降は大会前日に番組編成を行う。スタートリストについて、1日目は大会前々日、2日目以降は大会前日に公開する。
- (3) 時間による次のラウンドに進む競技者の決定について、最後の1枠に同成績がいる場合は、0.001秒単位の時間を判定して競技者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。
- (4) トラック競技（ハードルを含む100m～800mまでの種目）の決勝において、決勝スタートリスト発表後以下の〆切時刻までに空レーン（欠場）が生じた場合、次点の競技者を補充する。この際、棄権した競技者のレーンを割り当て、新たに番組編成は行わない。
補充対応を行う時間および周知方法は、以下の通りとし、次点／次々点競技者の両者とも出場意思がある場合は、次点の競技者を優先する。
 - 日本選手権2日目決勝種目（7月5日）
 - ・ 予選または準決勝終了後～翌5日（土）13:00までの欠場は補充を行う。
 - ・ 5日（土）13:00～13:15の間に、陸連 HP (<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1952/>) にて次点／次々点競技者を同時に知らせる。
 - ・ 5日（土）13:15～13:30の間に、次点／次々点競技者はTICにて出場の意思表示を行う（代理でも可）。
 - ・ 意思確認後すみやかに、スタートリストの更新を行う。
 - 日本選手権3日目決勝種目（7月6日）
 - ・ 予選または準決勝終了後～翌6日（日）14:00までの欠場は補充を行う。
 - ・ 6日（日）14:00～14:15の間に、陸連 HP (<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1952/>) にて次点／次々点競技者を同時に知らせる。
 - ・ 6日（日）14:15～14:30の間に、次点／次々点競技者はTICにて出場の意思表示を行う（代理でも可）。
 - ・ 意思確認後すみやかに、スタートリストの更新を行う。

7. 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① 計時は、すべて写真判定システムを使用する。
 - ② 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。
- (2) フィールド競技について
 - ① 計測は光波距離計測器を使用する。
 - ② 跳躍種目、及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備したもの、または承認したマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークルの外側に使用することができる。ただし、チョーク・炭マグなどをマーカーとして使用することは禁止する。
 - ③ 棒高跳の競技者は「棒高跳アップライト申告書」をTICで受け取り、自分の希望する支柱の位置を記入し、招集開始時に招集所に提出すること。その後位置を変更したい場合は、バーがセットされる前に担当競技役員に申し出ること。試技時間のカウントが開始されたら、バーの位置をそれ以上変更することはできない。（TR28.1）
 - ④ 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子11mの地点に設置する。
 - ⑤ フィールド競技における競技エリア（FOP）内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
 - ⑥ フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。コーチングはコーチ席からのみ行うこと。
 - ⑦ 録画されたものを確認するためにコーチ席との機器の受け渡しをする場合は、主催者の指定する場所で行うこと。
自撮り棒などを使用した録画媒体の確認は危険を伴うので行わないこと。
- (3) 競技者は競技役員の許可を得ることなく、かつ審判員が伴わない限り、競技の進行中に競技場所を離れることはできない。
- (4) 反スポーツマンシップ行為及び不適切な行為をした競技者（例：ケガなどを除くスタート後のレース放棄）には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。

警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

- (5) 女子 5000m の決勝は、ペースメーカーを付ける場合がある。(男女 800m・男女 1500m・男女 3000mSC・男子 5000m は付けない。) ペースメーカーがフィニッシュした場合、記録は公認とし、順位及び WA プレイシングスコア(順位ポイント)はつかない。

ペースメーカーの設定ペースについては、7月3日(木) 陸連 HP (<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1952/>) で公開する。

※事前に発表した設定ペースから変更となった場合は当日 TIC に貼り出しをする。

- (6) 男女 800m・男女 1500m・男女 5000m の決勝は電子ペーサー(ウェーブライト)を導入する場合がある(各種目の予選と男女 3000mSC 決勝は導入しない。)

光の色と設定ペースについては7月3日(木)に陸連 HP (<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1952/>) で公開する。

※事前に発表した設定ペースから変更となった場合は当日 TIC に貼り出しをする。

8. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。(ただし、天候等の状況により変更となることもある。)

走高跳											
	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
男子	2m00/2m10	2m05	2m10	2m15	2m20	2m25	2m29	2m33	2m36	2m38	2cm
女子	1m60/1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	1m87	1m90	1m93	2cm
棒高跳											
	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
男子	競技者の申告により設定	5m10	5m20	5m30	5m40	5m50	5m60	5m70	5m77	5m82	5cm
女子	競技者の申告により設定	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m25	4m30	4m35	5cm

- (2) 棒高跳の練習について

- ① バーをかけての練習はゴムバーで行う。
- ② 任意の高さ、及び棒高跳支柱の位置で試技順に2回行う。

9. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポールを除き、競技に使用する用具は原則として主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 投てき用具リストに複数ないもの(日本陸連検定品かつ WA 認証品に限る。)は、持ち込みを一人2つまで認める。持ち込み希望する競技者は、以下の時間に持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を TIC に提出すること。

女子やり：前日7月3日(木) 13:40~14:40

当日7月4日(金) 招集完了時刻の3時間前~2時間前

男子やり：前日7月4日(金) 12:00~13:00

当日7月5日(土) 招集完了時刻の3時間前~2時間前

やり以外：競技実施日 各種目招集完了時刻の2時間40分前~1時間40分前

- (3) WA 認定品かどうかの証明は、本人がしなくてはならない。(認定シールまたは WA サイト情報にて)
- (4) 持ち込みを受け付けた「投てき用具」については「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし、すべての競技者が使用できなければならない。投てき用具は競技終了後に TIC で「預かり証」を確認のうえ返却する。
- (5) 競技場に事前送付された棒高跳用ポールおよびやりの受け渡しは、TIC で指示する。
- また、本連盟申込(西濃運輸 幹旋)による棒高跳用ポールの配送料は、申込者へメールで送付する請求書の指定日までに振り込むこと。

10. 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) World Athletics (WA) が承認したシューズリストで No と記載されている靴については使用ができないので、各自で確認をしておくこと。 <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

- (3) 靴底の厚さについては、TR5 及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。
- (4) 競技終了後、ミックスゾーン通過後のポストイベントコントロールエリアにて、無作為に定められた一部競技者を対象に、使用した靴を提示することを求めることがある。
- (5) 使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後に提出を求めることがある。

1 1. 競技結果の発表及び抗議・上訴について

- (1) 競技結果の正式発表は、大型スクリーンでの発表時刻を基準とする。
- (2) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内（同一日に次ラウンドが行われる競技は、その結果が正式に発表されてから 15 分以内、それ以外は 30 分以内）に、競技者自身または代理人が、TIC を通じて審判長に対して口頭で行うこと。
- (3) この裁定に納得できない場合は預託金（1 万円）を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で上訴することができる。
- (4) ウィナーズパレード開始後は 1 1. (2) の時間内であっても抗議は受け付けない。

1 2. 表彰（ウィナーズパレード）について

- (1) 各日全ての競技終了後に、当該日に行われた 1～3 位の競技者を対象にメダルと賞状の授与およびウィナーズパレードを行う。（全ての競技一斉に行う。）
- (2) ウィナーズパレードはウェアで行う。（競技用ユニフォームでは行わない。）
- (3) 各種目の 1 位から 3 位の競技者には、賞状とメダルを授与する。
- (4) 4 位から 8 位に入賞した競技者には、TIC で賞状を授与する。
- (5) 日本選手権の最優秀選手 男女各 1 名を大会 3 日目のウィナーズパレードで表彰する。
- (6) 各日のウィナーズパレード退場時にプレミアムホスピタリティチケット購入者とハイタッチのファンサービスを案内予定。

1 3. ドーピングコントロールテストについて

大会要項記載の通り実施する。（※血液検査の対象となった場合、2 時間安静後の検査となる。）

1 4. 一般注意事項

- (1) 応急処置の必要性及びその他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (2) 競技中に発生した傷害・疾病について応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 3 階・4 階のコンコースの一部に選手控えエリアを設ける。7 月 4 日（金）～6 日（日）に入ることができ、4 日（金）は 10:00 から、5 日（土）は 9:00 から、6 日（日）は 11:00 より国立競技場東側の青山門 G ゲートから入場することができる。スペースに限りがあるため、譲り合って利用すること。（詳細は選手案内資料を参照）
期間中は荷物を置いておくことができるが、主催者側での管理・監察は行わないため注意すること。尚、動線の妨げ、または設置不可の場所にある荷物は主催者側で移動することがある。
- (4) バックスタンド側観客席下の室内練習場（B2F）は、練習時のみ使用すること。チーム待機場所を室内練習場内およびその付近、リングロードや駐車場に常設することは一切禁止とする。
- (5) 更衣室は、室内練習場付近に設ける。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理すること。
- (6) 室内練習場などの W-up エリアや招集所には、中継カメラが立ち入る可能性がある。
- (7) 大会期間中の貴重品の管理は、各自で行うこと。主催者は紛失盗難の責任を一切負わない。
- (8) 大会期間中に届けられた遺失物については TIC で保管する。保管期間は競技会終了までとし、それ以降は日本陸上競技連盟事務局に連絡すること。
- (9) 記録速報は、日本陸連公式 WEB サイトに掲載する。
- (10) 「記録証」を希望する競技者は、TIC に 500 円を添えて申し込むこと。
- (11) TIC での参加料領収書の発行は行わない。エントリーシステム（決済システム）より、支払証明書を発行することができる。
- (12) 競技場内へ横断幕・応援用のぼり・旗等を括り付けることはできず、それらに所属企業名（スポンサー名）の露出をすることもできない（本大会協賛社を除く）。また、他の観客へ応援グッズを配布することを禁止する。

（参考：https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202505/27_135022.pdf）

(13) 提出書類は、次の通りとする。（用紙は TIC に用意）

	提出するもの	提出場所	提出時刻
1	欠場届	T I C	〔大会 1 日目の種目〕 前々日の 12 時まで 〔大会 2 日目・3 日目の種目〕 前日の 12 時まで 3. (2) 参照
2	多種目同時出場届	招集所	1 種目目の招集時
3	投てき用具検査申請書	T I C	招集完了 2 時間前まで
4	棒高跳アップライト申告書	招集所	招集時
5	上訴申立書（預託金 1 万円）	T I C	競技規則 TR8 による
6	記録書発行願	T I C	18:00 まで

(14) 地震、台風、雷、荒天や、猛暑(暑さ指数(WBGT)が 31 度以上の場合)は、大会を一時中断・延期または中止することがある。
また、競技順を入れ替える場合もある。

15. WRk・WA 競技規則に関する補足

<WA 規則が適用される項目>

- (1) 投てき競技は、日本陸連検定品かつ WA 認証品の投てき物のみ使用できる。（TR32.1）
- (2) 同時申込を含めて、試技時間に競技者が不在の場合はパス扱い（-）とする。（TR4.3）
- (3) 日本選手権の欠場について、大会期間を通じて複数種目にエントリーしている選手が欠場届を提出した場合、提出された以降の全ての種目に欠場を反映する。ただし、大会医師の判断による欠場の場合はこの限りではない。（TR4.4）
- (4) トラック競技の決勝において、空レーン（欠場）が生じた場合、次点の競技者を補充する。運用は本注意事項 6（4）を参照のこと。（TR20.2.1 国際-注意 ii）

<WA 規則が適用されない項目>

- (1) トラック種目、フィールド種目ともに現場での抗議（競技中の抗議）は認めない（TR8.4.1 および 8.5 は適用しない。）
- (2) 広告・商標については、国内競技会における広告及び展示物に関する規程を適用する。

<その他>

WA コンチネンタルツアーゴールドで導入されている下記 2 つの項目（セイコーゴールドングランプリ陸上 2025 東京で導入した内容）は本大会では適用しない

- (1) フィールド（水平種目）の試技での【仮称 10-8-6 ルール】の運用（仮称 10-8-6 ルールは適用しない。）
- (2) フィールド種目に限り使用方法の制限付きで競技エリアに通信機器の持ち込みを認める運用（4.招集について(3)②に記載の通り、競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD プレーヤー・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。）

16. 参考情報

- ◆大会ページ（大会要項／競技注意事項／繰り上げ情報） <https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1952/>
- ◆特設サイト（記録速報／ライブ配信） <https://www.jaaf.or.jp/jch/109/>
- ◆東京 2025 世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考要項 <https://www.jaaf.or.jp/news/article/17671/>
- ◆ルールブック（競技規則） <https://www.jaaf.or.jp/about/rule/>
- ◆広告規程（参考資料） <https://www.jaaf.or.jp/news/article/14995/>
- ◆国内広告規程 抜粋（PDF 資料） https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202504/09_110433.pdf

第109回日本選手権 練習会場注意事項

- (1) 練習時間、練習種目については別紙練習会場計画を確認すること。
- (2) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。競技役員の指示のもと、安全に十分留意し練習を行うこと。
なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は問わない。
- (3) 練習に必要な用具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (4) 荷物などは、個人が責任を持ち管理すること。
- (5) 会場への入退場は、必ずADカードを明示すること。また、コーチは会場において、常にADカードが確認できるように着用すること。
- (6) 大会前日以降、屋内練習場を使用できる。(猛暑・雨天時のみ開放とする)
競技役員の指示のもと、安全に十分留意し練習を行うこと。
 - ① 跳躍の助走練習・投てきの助走練習は禁止する。
 - ② 屋内練習場内は、スターティングブロック・ハードル・ミニハードル等の器具の持ち込み、使用は禁止する。
 - ③ スターティングブロック、ハードルの設置については競技日程及び天候等を考慮し競技役員が設置する。
- (7) 国立競技場メインでの練習は次の通りとする。
 - ① メイントラック開放時刻
 - ・7月3日(木) 12:00~17:00
 - ・7月4日(金) 10:00~13:45
 - ・7月5日(土) 9:00~13:45
 - ・7月6日(日) 11:00~13:45
 - ② 競走路の使用は、原則として以下の通りとする。
 - ・1~2レーン：中・長距離
 - ・3~7レーン：短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点)
 - ・6~7レーン：100mH, 8~9レーン：110mH(ホームストレート)
 - ・6~7レーン：女子400mH 8~9レーン男子400mH(第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路)
 - ③ 跳躍種目・投てき種目は練習会場使用日程通り、それぞれの種目の練習を行うことができる。
記載された時間以外は認めない。担当競技役員の指示のもと、安全に十分留意して行うこと。
 - ④ 投てき種目については練習時間が限られるため、練習一覧表を十分確認すること。
また、投てき練習の際、必ず監督・コーチ立ち会いのもと安全に十分留意し行うこと。
競技場内(リングロードを含む)でメディシンボール等を投げた練習は禁止する。
 - ⑤ インフィールド芝生内への立ち入りを禁止する。(投てき練習を除く)
- (8) メイントラックおよび屋内練習場でのW-upの様子は、中継カメラが撮影をする場合がある。

【別紙】本競技場練習場 練習会場利用計画

メイントラック及び屋内練習場の練習会場計画

※猛暑（WGBT31 を超えた場合は変更の可能性あり）

		前日練習日 7月3日(木)	大会1日目 7月4日(金)	大会2日目 7月5日(土)	大会3日目 7月6日(日)
メ イ ン	トラック (1~9 レーン)	男女 12:00 ~ 17:00	男女 10:00 ~ 13:45	男女 9:00 ~ 13:45	男女 11:00 ~ 13:45
		1~2 レーン：中・長距離 3~5 レーン：短距離（スタートダッシュはホームストレートスタート地点） 6~9 レーン：100mH,110mH（ホームストレート 女子6.7 レーン 男子8.9 レーン） 6~9 レーン：400mH（第1 曲走路からバックストレート及び第2 曲走路 女子6.7 レーン 男子8.9 レーン） ※ハードルは、競技日程によってレーン数・高さを適宜変更します。 ※200m のブロックを使用したスタート練習は、400m のスタート位置（3・4・5 レーン）から第2 コーナーへ走る形で行うこと。 （第3 コーナー付近では行わないこと）			
	走幅跳 (バック)	男女 12:00 ~ 17:00 ※トラック側のピットを使用	男女 10:00 ~ 12:00	なし	男子 11:00 ~ 13:45
	三段跳 (バック)	女子 12:00 ~ 14:30 男子 14:45 ~ 17:00 ※スタンド側のピットを使用	女子 12:15 ~ 13:45	男子 9:00 ~ 10:30	なし
	走高跳 (A ゾーン)	男子 12:00 ~ 14:30 女子 14:30 ~ 17:00	男子 10:00 ~ 13:45	女子 9:00 ~ 13:45	女子 11:00 ~ 13:45
	棒高跳 (B ゾーン)	女子 13:50 ~ 15:20 男子 15:30 ~ 17:00	女子 10:00 ~ 12:20	男子 9:00 ~ 10:50	なし
	砲丸投 (A ゾーン)	男女 16:10 ~ 17:00			
	円盤投	男女 13:50 ~ 14:50			
	ハンマー投	男女 15:00 ~ 16:00			
屋 内 練 習 場	トラック (全てのレーン)	男女 12:00 ~ 17:00	(猛暑・雨天時は10時から開放) 男女 13:45 ~ 21:00	(猛暑・雨天時は9時から開放) 男女 13:45 ~ 19:00	(猛暑・雨天時は11時から開放) 男女 13:45 ~ 19:00
		後日掲載する【別紙】屋内練習場 利用計画参照 ※ハードルは、競技日程によってレーン数・高さを適宜変更します。			
	跳躍・投てき	跳躍練・投てき練 NG	跳躍練・投てき練 NG	跳躍練・投てき練 NG	跳躍練・投てき練 NG
4F 回廊 半周のみ スパイク不可	長距離 (jog)	使用不可	男女 13:45 ~ 21:00 ※上記時間はメインが使用不可となつてからの使用とする	男女 13:45 ~ 18:30 ※上記時間はメインが使用不可となつてからの使用とする	男女 13:45 ~ 18:30 ※上記時間はメインが使用不可となつてからの使用とする

※国立競技場の芝生内は、砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投以外の選手・コーチの立ち入りを禁止します。

※投てき練習は、必ず監督・コーチ付き添いのもと安全に配慮し行ってください。

※各日、その日に行われる競技のW-upを優先とします。

※練習に際しては、練習会場系の指示に従ってください。

※メイントラックは、地震、台風、雷、荒天や、猛暑(暑さ指数(WBGT)が31度以上の場合)は使用を禁止することがあります。

※7月3日(木) 15時00分よりメイントラックにてスタート練習を実施いたします。

【別紙】主催者が用意する投てき用具リスト（2025年7月4日～6日）

日本選手権 投てき物一覧表（国立競技場）

器具	種別	メーカー	品名等	品番	Certification No.	規格等	数量	合計
砲丸	男子(7.260kg)	NISHI	Steel, dia: 129mm	F251C	I-99-0083	φ 129mm,Silver	5	12
			Steel, dia: 125.5mm	F251	I-99-0087	φ 125.5mm,Silver	5	
			Steel, dia:120mm	F251A	I-16-0765	φ 120mm,Silver	2	
	女子(4.000kg)	NISHI	Steel, dia: 109mm	F253C	I-99-0084	φ 109mm,Silver	5	10
			Steel, dia: 103mm鉄製	F253	I-99-0089	φ 103mm,Silver	5	
円盤	男子(2.000kg)	NISHI	Super High Moment Carbon	NF311	I-18-0891	φ 220.5mm,White/red/blue	3	12
			Super HM	F331A	I-02-0255	φ 220.5mm,Purple/black/white	3	
			Super	F301B	I-99-0078	φ 220.5mm,Black/red/white	3	
		ギル	OTE Carbon	2204	I-08-0421	φ 220mm,Black/silver	2	
		DENFI	Jurgen Schult Ultimate Spin	D2000JSUS	I-99-0098	φ 220mm,White/yellow centre	1	
	女子(1.000kg)	NISHI	Super High Moment Carbon	NF313	I-18-0890	φ 181.5mm,White/red/blue	3	12
			Super HM	F333A	I-02-0256	φ 181.5mm,Purple/black/white	3	
			Super	F303B	I-99-0086	φ 181.5mm,Black/red/white	4	
		ギル	OTE G85 DISCUS Carbon 1K	2104	I-08-0422	φ 181mm,Black/silve	1	
		DENFI	Jurgen Schult Ultimate Spin	D1000JSUS	I-99-0099	φ 181mm,White/yellow centre	1	
ハンマー	男子(7.260kg)	NISHI	Steel and Tungsten	F201	I-99-0079	φ 110mm,Orange	12	12
	女子(4.000kg)	NISHI	Steel and Tungsten	NF210B	I-14-0700	φ 95mm, orange	6	12
			Steel and Ductile	F210A	I-99-0080	φ 95mm,Blue	6	
やり	男子(800g)	NEMETH	Classic 90m, aluminium	800CS90	I-99-0100	Violet/yellow/green	1	12
			Classic 85m, aluminium	800CS85	I-09-0429	Violet/yellow/magenta	2	
		NORDIC	Airglider Steel	7916803	I-99-0011	Red/white,flex6.1	2	
			Champion Steel, steel	7916800	I-99-0012	Lilac/white、向風用,flex6.4	2	
			Orbit, steel	7916808	I-99-0014	Blue/white,追風用,flex6.6	1	
			Super Elite 800, steel, 90m	7916801	I-99-0020	Black/white,flex6.8	1	
			Super Elite Classic	7916802	I-99-0019	Black/white,追風用,flex7.0	1	
		NISHI	Super GD Carbon Type I, carbon fibre	NF450	I-18-0931	Red/white	1	
			Super GD Carbon Type II, carbon fibre	NF451	I-18-0932	Blue/white	1	
	女子(600g)	NEMETH	Classic 80m, aluminium	600CS80	I-99-0102	Violet/yellow/green	3	11
			Classic 75m, aluminium	600CS75	I-99-0103	Violet/yellow/red	1	
		NORDIC	Diana Steel, steel, 80m	7917603	I-99-0018	Lilac, white,flex6.2	1	
			Super Elite, Steel	7917607	I-14-0715	White/black spiral,追風用,flex7.0	1	
			Diana Classic flex 7.2	7917601	I-99-0015	Pink/white spira	1	
			Diana NXS, Metal alloy	7917601	I-99-0015	Pink/white spira,flex7.2	1	
			Diana Classic flex 7.7	7917602	I-99-0016	Pink/white spiral	1	
			Diana NXB, Metal alloy	7917602	I-99-0016	Pink/white spiral,flex7.7	1	
		NISHI	Hybridgenome, duraluminium	NF466	I-12-0573	White/pink/yellow/black	1	

東京陸上競技協会・競技場管理部作成